

2011年3月に起きた福島第一原子力発電所の事故から、はや4年目の春を迎えようとしています。しかし今なお12万人以上(2014年12月時調査)が故郷を追われ、避難生活を余儀なくされています。

原発事故では、放射性物質が風に乗って広範囲に降り注ぎました。福島県では、厳しい検査を行い、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下の基準を満たしたもののだけ流通させています。科学的には安全なはずですが、今なお放射能への不安を訴える人もいます。4年の時がたっても、目に見えない放射能が多くの人々を苦しめているのです。

今回のシンポジウムでは、福島を作品として描いた久保田直さん(映画監督)、農業再建を目指す信濃卓郎さん(研究者)、復興に汗を流す本田紀生さん(NPO)をお招きして、福島で求められているものとは何か、お話を伺います。

### 「なつかしい未来へ」関連企画のご案内



## 家路

HOMELAND

出演：松山ケンイチ／内野聖陽／田中裕子  
監督：久保田直  
音楽：加古隆  
製作：『家路』製作委員会



映画『家路』上映会：3月6日(金) 18:00～

\* ワークショップ「考えよう 福島のこれから」：3月8日(日) 13:00～

※ 詳細は CoSTEP ウェブサイトでお知らせします

※ すべて北大学術交流会館で開催します

2015年 3月 7日 土

13:30～16:00 (開場・受付 / 13:00)

北海道大学 学術交流会館 小講堂 にて

みなさまのお越しをお待ちしております。参加費は無料です。



主催：北海道大学 CoSTEP <http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/>

共催：物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム

同日 10:00 より CoSTEP2014 年度成果発表会も開催します。シンポジウム、成果発表会とも、どなたでも参加できますが、準備の都合がありますので CoSTEP ウェブサイトから参加登録をお願いいたします。

# なつかしい未来へ

CoSTEP シンポジウム

福島の再生と科学技術コミュニケーション

## シンポジウム趣旨

2011年3月に起きた福島第一原子力発電所の事故から、はや4年目の春を迎えようとしています。しかし今なお12万人以上(2014年12月時調査)が故郷を追われ、避難生活を余儀なくされています。

原発事故では、放射性物質が風に乗って広範囲に降り注ぎました。福島県では、県内産の農産物に生産、流通の各段階で厳しい検査を行い、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下の基準を満たしたものだけ流通させています。科学的には安全だと生産者や行政、科学者は言いますが、今なお放射能への不安を訴える人もいます。4年の時がたっても、目に見えない放射能が多くの人々を苦しめているのです。

今回のシンポジウムでは、福島を描いた映画監督、農業再建を目指す研究者、復興に汗を流すNPO職員の3名をお招きして、福島で求められているものとは何か、お話を伺います。

映画『家路』では美しい福島の農村を舞台に、震災の影響で故郷が「戻れない場所」になってしまった家族を描きました。松山ケンイチ扮する次郎は、たった一人で苗を育て、今はもう誰もいなくなった田んぼを再生しようとします。

行政や研究者たちも震災直後から懸命に動いてきました。降り積もった放射性物質の影響をどのようにして減らしていくべきなのか、たゆまぬ研究活動を続けてきました。福島県では米に関して放射能に関する全袋検査を実施しています。2014年収穫の玄米では、震災以降はじめて新米で基準値超えゼロを達成しました。

そして、様々なNPOが、スタディツアーや農業体験を通して福島への理解を深めてもらおうと奮闘しています。CoSTEPの受講生も2013年と2014年の秋に、福島を訪れ放射線量の計測やインタビューを通して自分たちに何ができるのか、考えてきました。こうした体験型のコミュニケーションは、新たな対話の場を築き、人々が行動を起こすための突破口になりうるのでしょうか。

福島のため、科学技術コミュニケーションは何かできるのか。ともに考えてみませんか？

## パネリスト紹介



久保田 直 | くぼた なお

映画『家路』監督

1960年神奈川県生まれ。大学卒業後、1982年からドキュメンタリーを中心としてNHK、民放各社の番組制作に携わる。2007年MIPDOCでTRAIBLAZER賞を受賞し、世界の8人のドキュメンタリストに選出される。2011年に文化庁芸術祭参加作品「終戦特番 青い目の少年兵」(NHKBSプレミアム)を演出。



信濃 卓郎 | しなの たくろう

科学者 博士(農学)

1962年英国ロンドン市生まれ。北海道大学卒業。1990年北海道大学農学部助手、2002年に助教授、北大創成科学研究機構の准教授併任を経て、2008年に農研機構北海道農業研究センター根圏域研究チーム長に転職。2013年から農研機構東北農業研究センター農業放射線研究センター長。福島において農業現場での放射性物質の除染、拡散防止および農作物への移行抑制対策に取り組んでいる。



本田 紀生 | ほんだ のりお

NPO 法人事務局長

1957年福島県南相馬市生まれ。大学卒業後から広告業に従事し、2010年10月地域活性化のNPO法人「元気になる福島」を設立。震災後福島県の現状を全国に発信し、福島の子どものための保養受入依頼を全国に発信。2012年内閣府復興支援型地域社会雇用創造事業事務局にメンターとして従事。現在、田村市、川内村、大熊町を中心に復興支援をサポートしている。

進行：早岡 英介 | はやおか えいすけ CoSTEP 特任講師

関連企画1：映画『家路』上映会/久保田監督の舞台挨拶もあります

日時：3月6日(金) 18:00~20:00 / 場所：北大学術交流会館・小講堂  
申込：事前登録制 CoSTEP ウェブサイトより

関連企画2：ワークショップ「考えよう 福島のこれから」

日時：3月8日(日) 13:00~15:00 / 場所：北大学術交流会館・第1会議室  
申込：事前登録制。定員約20名。CoSTEP ウェブサイトより  
内容：福島の農業再建と放射能と食の問題、そして原発周辺自治体の復興をどう進めていくか議論します。信濃卓郎さんと本田紀生さんも参加します。

午前中は2014年度CoSTEP成果発表会が開かれます。

1年間の学びの成果をステージから、そしてポスターでも発表します。

こちらもおわせてご参加ください。

## 当日のスケジュール

8:50~	成果発表ポスターセッション
10:00~12:00	2014年度CoSTEP成果発表会
12:00~13:30	昼休み・ポスターセッション
13:30~16:00	シンポジウム



Communication in  
Science & Technology  
Education & Research Program

北海道大学 高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)  
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 phone & fax: 011-706-5320 (代表)  
e-mail: office@costep.hucc.hokudai.ac.jp http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/